



ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

PTA会長あいさつ

「自分を知る」

石原 千郷



平成二十七年を迎え、昨年の春からPTAの皆様には多大なるご理解・ご協力をいただき、誠に有難うございます。月日は早いもので、三年生の皆さんはもうご卒業ですね。おめでとうございます。また保護者並びに御家族の皆様、お喜び申し上げます。

邇摩高校では昨年春より『邇摩高校活性化プラン』実行のため、生徒・教職員・保護者並びに関係者各位様のお力添えをもちまして多種多様の企画を実行する事が出来ました。結果は当初の予想を超える良い反響を頂きました事、深く感謝致しております。この試みは、私達の邇摩高校を存続する為だけではなく、今から生徒達が社会に出て厳しい現実を直面した時に、「邇摩高校で事前に学んだ知識が役に立った。教えていただいた知識に助けられ仕事が早く出来た。仕事に分かるから職場が楽しい。」等々、実践に即した対応が社会適応の第一歩になれば、という思いで計画されたものです。さらに欲をいえば、卒業生たちが「邇摩高校で良かった。」と、母校を懐かしく思っ来校していただければ幸いです。そして、先々卒業生の皆さんのお子様も邇摩高校に入学してもらえればなればと、はるか先まで見つめています。

ここで一言、私的意見で申し訳ありませんが、今の若者の多くは、ゲームの世界の様に感情を持たないものの扱いは上手ですが、感

情をもつ人間に対しては、個人差はありますが、下手だと思えます。まして、敬語も知らない子どもが多いので、常識を問う社会ではやりにくくなることでしょうか。いずれは必ず仕事に就き、人間が相手になるはずですが。その様な場面も考慮しての『邇摩高校活性化プラン』です。この邇摩高校でしっかりと色々な事を学び、そして『自分を知る』ことに努めていただきたいと思います。『必ず自分は何と、信じて』

校長あいさつ

「邇摩高校活性化プランの推進」

山岡 雄一郎



平素より保護者の皆様方には本校の教育活動に對して、ご支援・ご協力をいただき、まことにありがとうございます。三年生はいよいよ卒業です。日々、お子様を支えてこられた保護者の皆様の感慨はひとしおであろうと推察いたします。卒業生の皆さんには、体験活動を重視した、総合学科ならではの学びを通して身に着けた力を十分に発揮して、様々な場面で活躍されることを期待します。

本年度は、他校にない、邇摩高校の特色ある学びをさらに充実させるために、全教職員で『邇摩高校活性化プラン』を策定し、できることから一つ一つ実行してきました。学校での物産販売を行う「邇摩高フェア」も季節ごとに充実したものとなり、たくさんの方の来訪をいただきました。地域の小中学校へ、本校の生徒が出向いて本校の学

習活動を紹介したり、体験活動をしてもらう「邇摩高アンバサダー事業」。いずれも、活動の中心となったのは三年生でした。PTAの活性化の一つとして、文化祭でのフリーマーケット、焼きそば販売など、保護者の方々にも大活躍していただきました。

また、今年度からスタートした、文科省の研究指定事業「高等学校における特別支援教育の推進」を進めるにあたり、障がいのあるなしに関わらず、わかりやすい授業作りを進めるために、タブレット端末と大型電子黒板を用いた授業を行います。機器の導入に当たっては、PTAの皆様、同窓会の皆様にご支援をいただき、年度内にも実施のめどが立ちました。重ねて感謝申し上げます。

地域の子供たちの数が減少するという厳しい状況の中で、私たちは本校活性化プランを具体化して、さらに魅力ある邇摩高校を目指します。保護者の皆様には引き続きのご支援をお願いして、ごあいさついたします。

卒業生保護者より

テーマ「贈る言葉」

郷原 寿夫

卒業おめでとう。進路や部活動などに対して、自分自身で明確に目標を掲げ、それに向かって努力する姿は、親にとってもとても心強く感じました。

四月からは専門学校へと進み、さらに自分の目標に向かって頑張ってください。

お世話になった先生方や友達、また先輩後輩の皆さんへの感謝の気持ちを持ち、この出会いを一生大事にしていくことを願っています。

ます。

自分の目標に向かって、新たに踏み出す一歩。今は期待や不安が入り混じっているかもしれないませんが、あなたなら大丈夫。家族みんなまで応援しているから、しつかり頑張ってください。

### 森 章裕

三年間、ご苦労様でした。四月からは、親元を離れる人、地元就職をする人と、進路は別れますが、今以上に自己管理をし、新しい環境でスタートを切ってください。

教職員の皆様、三年間、子ども達を支えて頂き感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、これからは責任、義務と言ったものが付いてきます。大変なこともあると思いますが、どうぞ自分を信じて進んで下さい。活躍を願っております。

### 田中 一昌

卒業おめでとう。

お前は邇摩高校に入学して、本当に良かったと思います。部活や友達、学校行事など充実した三年間だったと思います。

思い起せば一年生の進路選択の頃は、将来の目標など何も見えず、二年生の頃からおぼろげに目標が見え、三年生で具体的な目標を持つことができました。先生をはじめ色々な人達のおかげだと思います。

四月からは、目標を実現するために、新たな一歩を踏み出しますが、目標に向かってひたむきに努力してほしいと思います。



### 卒業生より

#### 前生徒会長 月森 幸

邇摩高校での三年間で私は、多くのことを学ぶことができました。日々の生活では、楽しいことも辛いことも友達と共有して、たくさん思い出ができました。進路を決めていく上でも、友達の応援はとても心強く、先生方にもご指導をいただきました。そこで、私はたくさんの人に支えられているのだと気づくことができました。

私も将来、誰かを支えることができるような人間になって、たくさんの人を笑顔にしたいと思います。

#### 三年一組 鎌田 達哉

私は、この邇摩高校で多くの事を学び、様々な力を身に付けることができました。高校に入学して、授業や部活動、クラスメイトなど多くのことが変化しました。楽しい事や辛い事、悩んだ事などたくさんありました。その中で乗り越える力、耐えきる力、時には受け流す力、そういった社会に出てから大切な力を学ぶことができました。そして、授業などを通しての地域の方々とのふれあいの中でも大切な事を学びました。

四月からは、地元で働きます。これから働く上で様々な人に感謝し、そして何らかの形で恩返しできたいと思います。その三年間本当にありがとうございました。

#### 三年一組 樋井 真奈

私は邇摩高校に入学してから三年間、警察官になるため、文武両道をモットーとして

日々過ごしてきました。そのために、朝早くから夜遅くまで、勉強と部活に熱心に取り組みました。これを続けることができたのも、先生、家族、友人など多くの人が支えてくれたおかげで、私は最後までやりきろうという気持ちになれました。途中で、何度か違う進路を考えたこともありましたが、やはり柔道を活かし、人の役に立てる警察官になりたいと思えました。

卒業後は、支えてくれた人への感謝の気持ちを忘れず、警察官として多くの人を守り、支える強さを築いていきます。

#### 三年三組 細田 美緒

この三年間すごくあつという間でした。学校生活や部活・行事を通してたくさん悩み、苦しいこともあつたけど、その分楽しく充実した学校生活を送ることが出来ました。この三年間とてもあつという間だったけどすごく濃い三年間でした。いろいろな経験を通して心も体もたくさん成長することが出来ました。こういう経験をさせてくださった先生や友達、家族などたくさんの方への感謝を忘れず春から頑張ります。不安もたくさんありますが、邇摩高校で学んだことを生かして一歩一歩未来に歩いていきます。

高校を卒業すると、今まで以上に大きく環境(生活リズム、人間関係、仕事、学習内容等)が変化します。卒業生の皆さんもそろそろ高校時代の殻を脱ぎ、社会に出ていくための新しい殻を身に着けなければなりません。ぎこちなさや変わることを嫌がって居心地の良い過去の殻を脱げずにいる人はいませんか? その殻があなたの成長を邪魔しているかもしれません。高校卒業が人間性を高め成長する絶好のチャンスです。卒業生の皆さんがこの卒業を機に大きく成長し、地域社会に貢献できる人材として活躍していくことを期待しています。

### 教職員より



#### 「脱皮」

#### 三年学年主任 萬治 正



邇摩高校の農場のわき小さな水路があります。そこでは、まれにザリガニの脱皮する様子が観察できます。脱皮直後は殻がやわらかく外敵

からも狙われやすい不安定で危険な状態になりますが、「成長する」ためには必要不可欠な行動です。リスクを恐れて変わらなければ成長しない。人間の世界でも同じことができると思います。

#### 「言葉育て、言葉で育つ人へ」

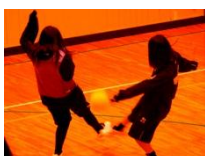
#### 進路指導部長 田中 真理子



「百合樹」の前号では「失敗は人を育てる」と述べました。さて、今回は「言葉」です。



ロードレース風景



球技大会風景

人は、言葉を手に入れることで自分の世界を広げていきます。自分の周りのものや自分の感情を自分の言葉で表し、存在させていくことで自分の生きる世界が作られていくのだと思います。高校時代までに身につけた言葉を持って、皆さんは巣立っていきます。

選ぶ言葉や語る内容に、「随分成長したな」と感じたこともあれば「まだまだ」と苦笑したこともありました。社会の中で自分を理解してもらい、相手とつながるために、言葉を大切にしたいと思えます。何気ない一言でも、人を救うこともあれば傷つけることもあります。それが「言葉の力」です。皆さんの言葉が皆さんの未来を輝かせることを祈り、この言葉を贈ります。「卒業おめでとう！」



**「卒業おめでとう」**  
**三年一組担任 澄川 陽子**  
 卒業おめでとうございます。皆さんが一年生の時、高校の環境にまだ慣れていなくて、入学して少したった頃、「中学校に戻りたが楽しかった」「中学校に戻りたい」という言葉をよく耳にしました。卒業を迎えた今はどうでしょうか？

卒業後、新たな先でいろいろなことがあると思います。不安もあると思います。しかし、高校生活を思い出してみてください。いろいろな不安や困難を皆さんは乗り越え、力に成長してきたはずですよ。大丈夫！何でもできる！



ケーキコンテスト

**「卒業おめでとう」**



**三年二組担任 山崎 真理子**  
 卒業おめでとう。二年間とても楽しく、心配もしながらあつという間に卒業が来ました。クラス「頼れる女子力」と「優しい男子」の関係は、人数比でなく北斗晶と佐々木健介夫妻を思わせるような、仲良しというより、お互いの個性を認め合い、補い合いながら、生徒会行事などに臨む微笑ましいものでした。女子の中には「切磋琢磨」という関係も見られ、頼もしく見ていました。

さて、春から新たな生活が始まります。それぞれの環境で、皆さんの個性を表に出し、周囲の人と良い関係を作り、逞しく生きてほしいと願っています。SNSに振り回されず、自分の思いを直接相手に伝える事の出来る人になって下さい。基本は挨拶と笑顔!!リア充大切!皆さんの幸せを祈っています。



**「卒業するみんなへ」**

**三年三組担任 伏井 真人**

全てはより良いことのために起こる辛くて苦しい日々、その日々には必ず意味がある。人の心の痛みがわかるようになる。心の大きい人になる。置かれている環境がどんなに厳しくともその環境には、必ず意味がある。人として成長することが出来るようになる。感動を与えられる人になる。

人生、意味のないことは起こらない。起きたことに感情を注ぐのではなく起きた意味を考える。全ては、自分が幸せになるために起こっているのだから。

**漣摩高フエア**

総務部長 白澤 和朋

今年度から漣摩高校活性化プランの一つとして、漣摩高フエアを開催することとなりました。四月をスプリングフエア、七月をサマーフエア、そして十二月をウインターフエアと銘打つての開催となりました。ウインターフエアでは、五系列の生徒が揃い、販売、軽食、しめ縄教室、キッズランド、読み聞かせなどそれぞれ趣向を凝らした内容で、多くの方々に来校いただきました。ありがとうございました。

漣摩高フエアでは、開かれた学校、輝く生徒像を目標に、それぞれの生徒がそれぞれの担当で生き活きと活動しております。来年度は、さらに多くの方々に来校していただけるフエアを開催したいと思えます。是非、来校いただきますようお願いいたします。

**後期の出来事**

○ 校内ロードレース大会 (十月三十日) 男子10.0km、女子8.0kmを颯爽と走りぬきました。

○ 創立百一十周年記念文化祭 (十一月十四日・十五日) 「笑顔の華を満開に」百一十年の歴史のもとに「をテーマに、オープニングセレモニー、講演会、ファッションショー、展示・体験、模擬店と盛りだくさんの企画が行われました。生徒考案の本校「マスコットキャラクター」も誕生しました。



○ 家庭クラブによるケーキコンテスト (十一月十一日) 今年は、三年生の井上楓さん、林叶香さん、加納沙也香さん、谷本千尋さん、萩原萌々香さん、松本みのりさんによる合作が最優秀賞に選ばれました。

○ 第二回球技大会開催 (十二月十六日) 当日は生憎の雨で、男子はフットサル、女子はフットサルとバドミントンが体育館で行われました。

○ 課題研究発表会 (一月二十二日) 各系列から選ばれた代表の三年生が大田市民会館で発表しました。二年生によるインターンシップ報告。一年生による進路学習の展示もありました。

**新生徒会より**

**新生徒会長 今井 ステファニー**  
 三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今期の生徒会では、昨年の生徒会スローガンを引き継ぎ、「地域に貢献し漣摩高校の良さをもっと知ってもらおう」を目標に取り組んでいます。

生徒会長として思い通りにいかず、悩むことや、大変だと感じることも沢山あると思います。しかし、生徒会長として、皆さんの期待に応えられるように精一杯努力をしたいと思います。漣摩高校をこれまで以上に良い学校にしますので一年間よろしく願います。



後期部活動報告



男子個人シングル  
ベスト32 松原励 吉山佑樹  
男子個人ダブルス  
ベスト32 松原・大谷ペア

弓道  
団体 女子団体 新治祥子  
近的12位、遠的14位(予選敗退)

県選手権

女子団体 36射15中(予選敗退)

男子団体 36射13中(予選敗退)

女子個人 6位 花原彩香

中国新人

女子個人 花原彩香(予選敗退)

男子バスケット

県選手権 遼摩45-113 平田

県新人戦 遼摩26-135 出雲商業

女子バスケット

県選手権 遼摩39-62 浜田

県新人戦 遼摩36-101 大社

バレーボール

選手権 遼摩1-2 飯南

中国新人戦 遼摩2-0 矢上(不戦勝)

男子ソフトテニス

県総体 団体1回戦 遼摩1-2 大社

女子ソフトテニス

県選手権 個人 ベスト32

友村・鳥笥尾ペア

県新人戦 団体1回戦 遼摩1-2 江津工

卓球

県選手権

男女ダブルス 1回戦敗退

男女シングルス 2回戦進出

県新人戦

男女シングルス 2回戦進出

バドミントン

県新人大会

男子団体 1回戦 遼摩2-3 松江西

女子団体 1回戦 遼摩0-3 松江商



吹奏楽

全日本吹奏楽コンクール島根県大会  
高校小編成の部 金賞

第38回全日本アンサンブルコンテスト

島根県大会 高等学校の部

クラリネット五重奏 銀賞

打楽器三重奏 銅賞

写真

秋季写真コンクール 特選

田中美有・松浦亜梨沙・荊尾遥七

荻野雛・竹下未夢・二柿美香・石田鈴枝

松尾佳奈

島根県高等学校写真展

奨励賞 石田鈴枝

書道

県書道コンクール

特選 斎藤奏

秀作 岡田ひな乃・波多野早南・中倉楓

全国高総文祭滋賀県大会

推薦作品 波多野早南

県書道展 奨励賞 平田朱音



ビジネス部

第61回 珠算・電卓競技大会

珠算部門 団体 3位

秋季珠算・電卓競技大会 珠算部門

読上暗算・読上算 3位 橋坂唯

第5回中国五県商業教育実技競技大会

珠算部門

読上暗算・読上算 3等 橋坂唯

文芸部

文学専門部県コンクール

詩部門 優良作 山本実果

短歌部門 優良作 田平亜香里

俳句部門 優秀作 細谷恵利奈

文芸誌部門 優良作 遼摩高校文芸部

散文部門 佳作 山本実果

俳句部門 佳作 松本みのり

農業クラブ

意見発表県大会

食料・生産区分 優秀賞 細田美緒

環境区分 優秀賞 山内建人

文化・生活区分 優秀賞 松原励

プロジェクト発表県大会 食料・生産区分

優秀賞 杉谷亮馬・高橋ひかり

鑑定競技大会 田中諒・土肥駿介・細田美緒

農業区分 優秀賞 田中諒

資格取得

国語科

漢字検定

準2級3名、3級9名、4級1名

英語科

英語検定 3級3名

家庭科

四冠王(食物・被服1級三種目)

郷原幸保里(島根県)

三冠王(1級三種目合格者)

和上玲香・野広明日香

食物調理検定

1級14名、2級6名

被服製作検定

和2級6名、洋2級3名

和1級3名、洋1級3名

保育検定

造形表現技術1級20名

言語表現技術1級17名

家庭看護技術1級3名

音楽リズム1級3名

ビジネス系列

全商珠算・電卓実務検定

電卓1級10名

1級普通計算5名(電卓)

電卓2級10名

全商簿記実務検定

1級2名、1級原価計算2名

全商情報処理検定

1級1名、2級6名、3級14名

全商ビジネス文書実務検定

1級3名、2級25名、3級56名

農業系列

乙種危険物取扱者 4類1名

丙種危険物取扱者 1名

福祉住環境コーディネーター3級 1名

福祉系列

介護職員初任者研修課程 15名

認知症サポーター 15名

あいさポーター 14名

普通救命講習 13名

福祉住環境コーディネーター3級 4名

